

令和5年度

武蔵野市予算の概要

誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 平和が続く未来をつくる予算

令和5年2月

武蔵野市

目 次

1	編成方針	1
2	予算規模（一般会計）	1
3	予算の状況（一般会計）	2
	（1）歳入の概要	2
	（2）歳出（目的別）の概要	4
	（3）歳出（性質別）の概要	6
4	基金・市債の状況	8
	（1）基金	8
	（2）市債	9
5	特別会計	10
6	公営企業会計	11
	（1）水道事業会計	11
	（2）下水道事業会計	11
7	特徴ある事業	13
	Ⅰ 健康・福祉	14
	Ⅱ 子ども・教育	18
	Ⅲ 平和・文化・市民生活	22
	Ⅳ 緑・環境	28
	Ⅴ 都市基盤	30
	Ⅵ 行財政	34

※本書における令和5年度の予算額は、当初予算案の数値です。

※各表及びグラフの計数は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。

※増減率及び構成比などは、原則として各表及びグラフ内計数により計算しており、他の表、グラフ及び資料の値とは一致しない場合があります。

令和3年度まで本資料に掲載していた「市税の状況」、「消費税率の改定及び地方消費税交付金について」、「複数年度にわたる建設等事業」については、令和4年度より予算参考資料に掲載しています。

1 編成方針

令和5年度予算は、「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 平和が続く未来をつくる予算」と位置付け、第六期長期計画の4年目として、計画の各分野に掲げられた施策を着実に推進するとともに、社会・経済全体の不確かな状態の中で新たに生じる課題にも対応しながら、持続可能な市政運営を行っていくため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分することを基本に予算を編成した。

また、効率的な行政経営により健全な財政運営を維持するため、事務事業及び補助金の見直しや政策再編を継続的に実施したほか、経常経費は前年度予算額を上限とする予算配分により経費の節減を行った。

2 予算規模（一般会計）

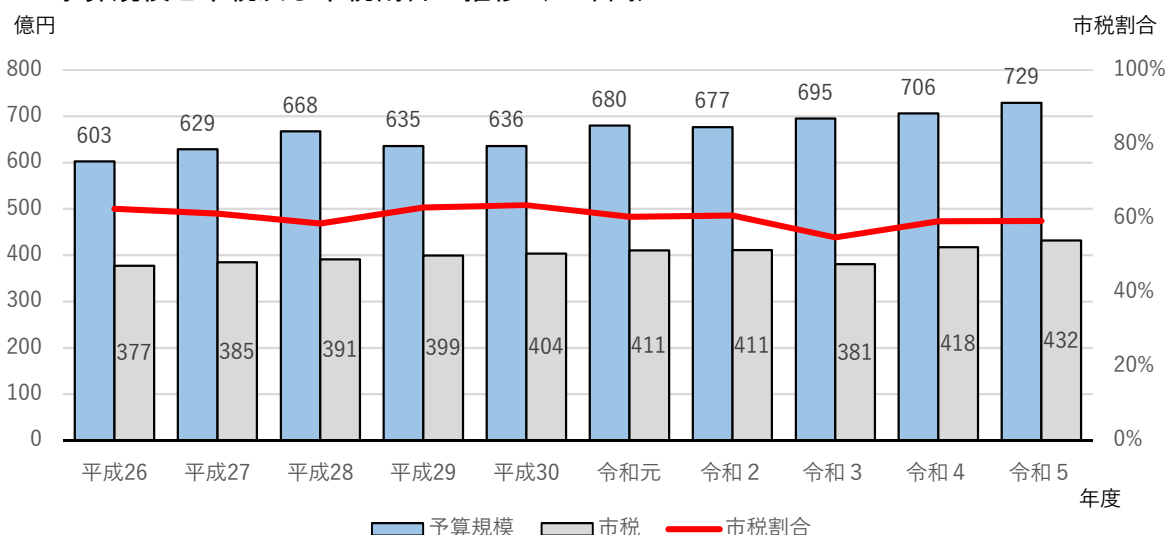
一般会計の予算規模は、自転車対策事業土地購入費の減や、情報教育指導の減などがあるものの、学校改築事業や公園等建設事業土地購入費の増、都市計画道路3・4・2号線事業土地購入費の増などにより、前年度に比べ23億3,600万円増の総額729億2,200万円となった。

■ 予算規模（一般会計）前年度比較

単位：千円

	令和5年度	令和4年度	比較	増減率(%)	
				令和5年度	令和4年度
一般会計	72,922,000	70,586,000	2,336,000	3.3	1.5

■ 予算規模と市税及び市税割合の推移（10年間）



単位：百万円

年度	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
予算規模	60,260	62,878	66,766	63,548	63,558	67,966	67,663	69,539	70,586	72,922
伸び率	4.3%	4.3%	6.2%	△4.8%	0.0%	6.9%	△0.4%	2.8%	1.5%	3.3%
市税	37,708	38,517	39,124	39,942	40,373	41,058	41,089	38,105	41,754	43,208
伸び率	3.6%	2.1%	1.6%	2.1%	1.1%	1.7%	0.1%	△7.3%	9.6%	3.5%
市税割合	62.6%	61.3%	58.6%	62.9%	63.5%	60.4%	60.7%	54.8%	59.2%	59.2%

3 予算の状況（一般会計）

(1) 歳入の概要

市税については、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響は見通せないものの、納税義務者数の増加や企業収益の改善見通しによる個人・法人市民税の増のほか、土地における通常の負担調整措置適用等による固定資産税の増などにより、前年度と比べ14億5,400万円、3.5%の増となった。

都支出金については、都市計画公園事業補助金の増などにより、前年度と比べ5億4,100万円、7.1%の増となった。繰入金については、市税等の一般財源の増に伴い、公共施設や学校施設における改修工事等の財源となる特定目的基金の繰入が抑えられたことにより、前年度と比べ6億3,400万円、35.9%の減となった。

■ 歳入予算前年度比較

単位：千円

区 分 (款)	令和5年度 予算額(A)	令和4年度 予算額(B)	比 較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C)/(B)	構成比率 (%)	
					令和5年度	令和4年度
1 市 税	43,207,500	41,753,767	1,453,733	3.5	59.2	59.2
2 地 方 譲 与 税	199,500	193,500	6,000	3.1	0.3	0.3
3 利 子 割 交 付 金	64,200	54,500	9,700	17.8	0.1	0.1
4 配 当 割 交 付 金	337,000	260,000	77,000	29.6	0.5	0.4
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	180,000	180,000	0	0.0	0.2	0.2
6 法 人 事 業 税 交 付 金	875,000	610,000	265,000	43.4	1.2	0.9
7 地 方 消 費 税 交 付 金	3,650,000	3,641,000	9,000	0.2	5.0	5.1
8 環 境 性 能 割 交 付 金	40,000	58,000	△ 18,000	△ 31.0	0.0	0.1
9 地 方 特 例 交 付 金	72,000	50,000	22,000	44.0	0.1	0.1
10 地 方 交 付 税	100	100	0	0.0	0.0	0.0
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	12,500	12,500	0	0.0	0.0	0.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	345,378	327,230	18,148	5.5	0.5	0.5
13 使 用 料 及 び 手 数 料	1,482,072	1,463,401	18,671	1.3	2.0	2.1
14 国 庫 支 出 金	10,602,391	10,196,091	406,300	4.0	14.5	14.4
15 都 支 出 金	8,194,492	7,653,571	540,921	7.1	11.2	10.8
16 財 産 収 入	66,303	63,340	2,963	4.7	0.1	0.1
17 寄 附 金	43,100	43,100	0	0.0	0.1	0.0
18 繰 入 金	1,134,261	1,768,687	△ 634,426	△ 35.9	1.6	2.5
19 繰 越 金	700,000	700,000	0	0.0	1.0	1.0
20 諸 収 入	1,086,203	925,213	160,990	17.4	1.5	1.3
21 市 債	630,000	632,000	△ 2,000	△ 0.3	0.9	0.9
合 計	72,922,000	70,586,000	2,336,000	3.3	100.0	100.0

《主な費目の増減理由》

費目・説明	増減理由
市税 …市民税、固定資産税、都市計画税など、市の歳入の根幹となるもの。	景気の動向、納税義務者数増加や企業収益の改善見通し等の要因による個人・法人市民税の増のほか、土地における通常の負担調整措置適用等による固定資産税の増などにより、前年度と比べ14億5,400万円、3.5%の増となった。
法人事業税交付金 …消費税率引上げに連動して実施された地方法人特別税・譲与税制度の廃止に伴う法人住民税法人税割(市町村分)の減収分の補填措置として交付されている。	都道府県に納入された法人事業税の額から超過税率課税分を除いた額の7.7/100に相当する額を、従業者数に応じて交付される。交付基準に一部法人住民税法人税割額を用いる経過措置が終了し、令和5年度から全額従業者数に応じて交付されることにより、前年度と比べ2億6,500万円、43.4%の増となった。
地方消費税交付金 …商品サービス等の対価額に対して10%(8%)が課税されている。そのうち2.2%(1.76%)が地方消費税として地方に配分されている。	都道府県間の清算後税収の2分の1が市町村の人口と従業者数で按分して交付される。 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響など消費動向への影響が見通せないことから、令和3年度決算額と同水準を見込み、前年度と比べ900万円、0.2%の増となった。
国庫支出金 …国から市への支出金。法令により負担義務を負う負担金、奨励的、財政援助的に交付される補助金、本来国が行う事務を便宜上行った場合の委託金がある。	児童手当負担金や新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金などが減となったものの、保育所等運営費負担金や地域防災拠点建築物整備緊急促進事業補助金などの増により、前年度と比べ4億600万円、4.0%の増となった。
都支出金 …都から市への支出金。国庫支出金同様、負担金、補助金、委託金がある。	参議院議員選挙委託金や保育所等賃借料補助事業補助金などの減があるものの、都市計画公園事業補助金やとうきょうママパパ応援事業補助金などの増により、前年度と比べ5億4,100万円、7.1%の増となった。
繰入金 …市の貯金である基金から取り崩して事業に充てる基金繰入金と、特別会計から入る特別会計繰入金がある。	市税等の一般財源の増に伴い、公共施設や学校施設における改修工事等の財源となる特定目的基金の繰入が抑えられたことにより、前年度と比べ6億3,400万円、35.9%の減となった。公共施設整備基金は庁舎の維持管理やコミュニティセンターの改修・修繕工事等に充当している。
市債 …市の借金にあたるもの。投資的経費等に必要なる財源を調達するために借入れを行う。	中学校改築事業債の増はあるものの、(仮称)吉祥寺本町一丁目27番街区自転車駐車場整備に伴う土地購入の完了による自転車対策事業債等の皆減により、前年度に比べ200万円、0.3%の減となった。

(2) 歳出（目的別）の概要

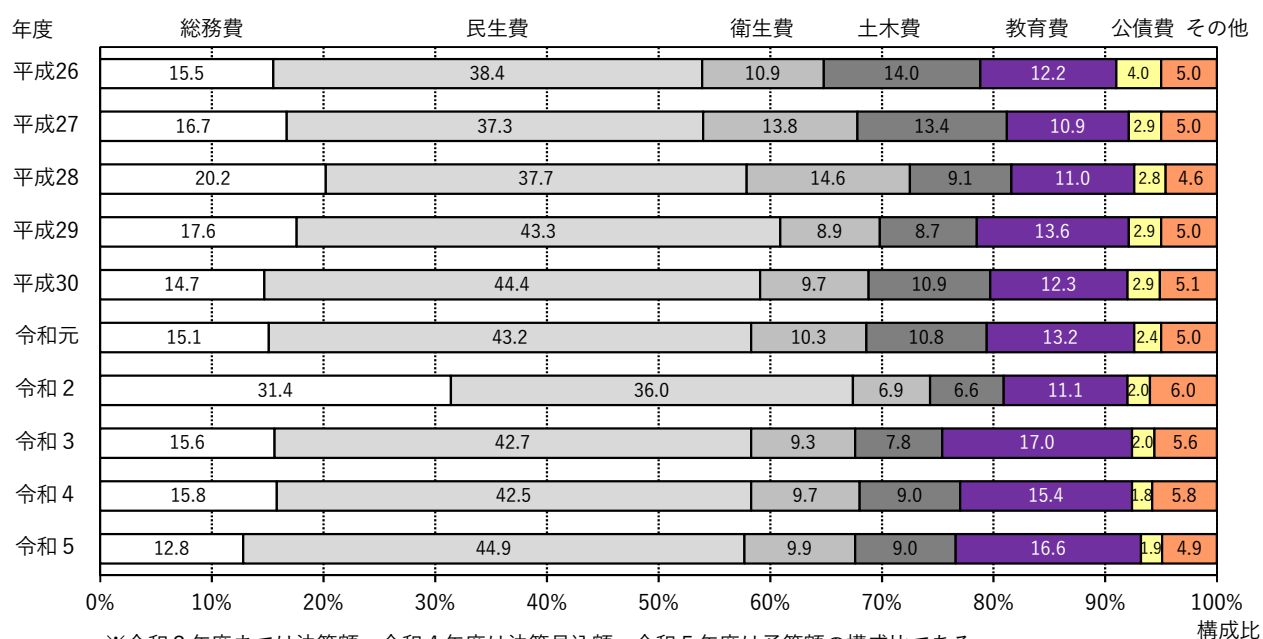
目的別分類では、教育費は小中学校改築事業などにより14.4%の増、商工費が商店会活性化出店支援金などにより8.8%の増となった。また、民生費は全体の44.9%となり、前年度と比べ6億6,800万円、2.1%の増となった。

■ 歳出（目的別）予算前年度比較

単位：千円

区分(款)	令和5年度 予算額(A)	令和4年度 予算額(B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率(%) (C)/(B)	構成比率(%)	
					令和5年度	令和4年度
1 議会費	472,964	470,729	2,235	0.5	0.6	0.7
2 総務費	9,323,730	9,413,174	△ 89,444	△ 1.0	12.8	13.3
3 民生費	32,781,901	32,113,510	668,391	2.1	44.9	45.5
4 衛生費	7,186,726	6,818,746	367,980	5.4	9.9	9.7
5 労働費	49,508	48,056	1,452	3.0	0.1	0.1
6 農業費	84,374	78,147	6,227	8.0	0.1	0.1
7 商工費	659,624	606,316	53,308	8.8	0.9	0.8
8 土木費	6,590,811	6,682,097	△ 91,286	△ 1.4	9.0	9.5
9 消防費	2,156,357	2,195,417	△ 39,060	△ 1.8	3.0	3.1
10 教育費	12,097,292	10,577,449	1,519,843	14.4	16.6	15.0
11 公債費	1,377,300	1,441,073	△ 63,773	△ 4.4	1.9	2.0
12 諸支出金	41,413	41,286	127	0.3	0.1	0.1
13 予備費	100,000	100,000	0	0.0	0.1	0.1
合計	72,922,000	70,586,000	2,336,000	3.3	100.0	100.0

■ 歳出（目的別）構成比の推移（10年間）



※令和3年度までは決算額、令和4年度は決算見込額、令和5年度は予算額の構成比である。
※令和2年度に総務費が大幅に増えているのは、特別定額給付金事業の実施によるものである。

《主な費目の増減理由》

費目・説明	増減理由
<p>総務費 …庁舎管理、戸籍、統計、徴税、選挙、職員に要する経費など市の全般的な管理に必要な経費</p>	<p>住民情報系システム構築・改修作業3億7,200万円の増などがあるものの、財務会計システム、人事給与システム等の構築・改修作業2億7,200万円の減、コミュニティセンター施設改修1億4,300万円の減、庁舎改修9,000万円の減などにより、8,900万円、1.0%の減となった。</p>
<p>民生費 …社会福祉、児童福祉、生活保護など、一定水準の生活を保障するために必要な経費</p>	<p>児童手当1億3,700万円の減、保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金5,000万円の減などがあるものの、国民健康保険事業会計繰出金1億7,300万円の増、介護・訓練等給付費（障害者自立支援給付）1億6,100万円の増などにより、6億6,800万円、2.1%の増となった。</p>
<p>衛生費 …保健衛生や環境対策、ごみ処理などに必要な経費</p>	<p>公衆トイレ建替7,700万円の減などがあるものの、出産・子育て応援広域連携事業1億2,500万円の増、クリーンセンター電気料7,100万円の増、保健センター増築及び複合施設整備設計6,700万円の増などにより、3億6,800万円、5.4%の増となった。</p>
<p>土木費 …都市計画や道路・公園等の維持・整備などに必要な経費</p>	<p>公園等建設事業土地購入費2億2,800万円の増、都市計画道路3・4・2号線事業土地購入費2億200万円の増などがあるものの、自転車対策事業土地購入費5億1,900万円の減、景観道路事業連系引込管設置1億1,900万円の減、下水道事業会計負担金9,800万円の減、橋りょう維持修繕5,400万円の減などにより、9,100万円、1.4%の減となった。</p>
<p>教育費 …学校教育や生涯学習などに必要な経費</p>	<p>小中学校での情報教育指導2億200万円の減があるものの、小中学校改築事業13億5,100万円の増、小中学校電気料1億6,500万円の増、小中学校校舎等改修（児童・生徒増対応改修含む）1億800万円の増、陸上競技場改修1億200万円の増などにより、15億2,000万円、14.4%の増となった。</p>
<p>公債費 …地方自治体が借り入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費</p>	<p>元金の償還が開始（令和元年度起債の防災行政無線デジタル化工事、学校給食桜堤調理場建設工事）されることによる増があるものの、償還終了（公園建設事業債、消防施設整備事業債等）による減があり、6,400万円、4.4%の減となった。</p>

(3) 歳出（性質別）の概要

性質別分類では、物件費が電気・ガス料高騰、住民情報系システム構築・改修作業などにより10億9,600万円、6.0%の増、繰出金が国民健康保険事業会計繰出金の増などにより2億2,700万円、4.2%の増となった。また、投資的経費は中学校改築事業などにより13億8,600万円、21.5%の増となった。

■ 歳出（性質別）予算前年度比較

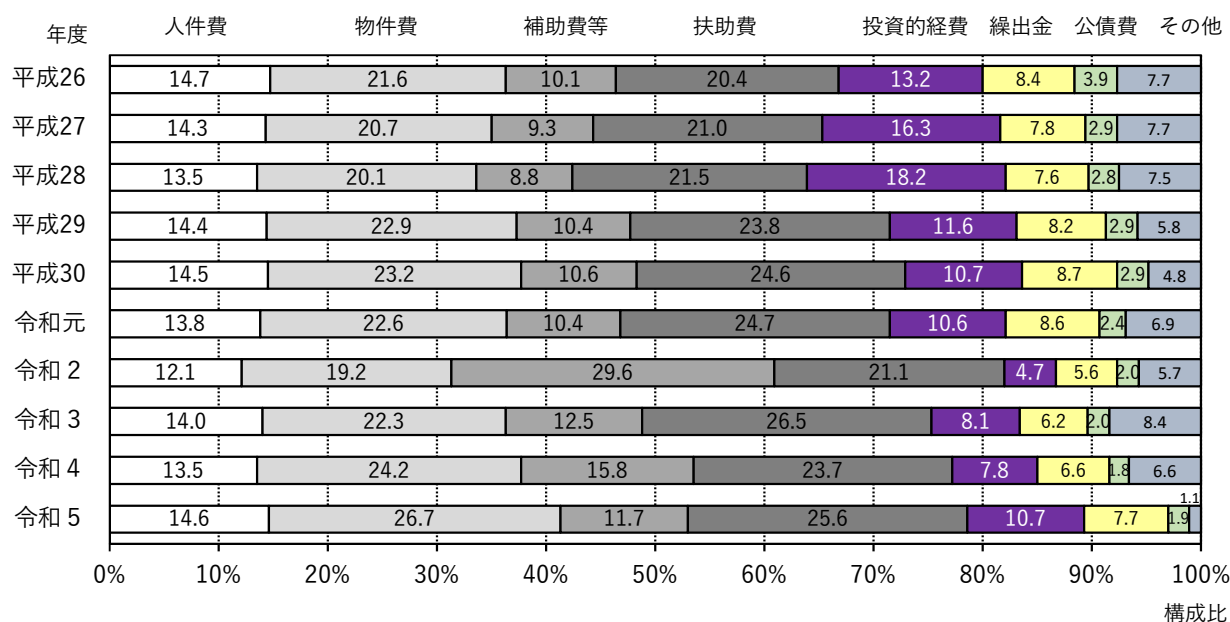
単位:千円

区分	令和5年度 予算額 (A)	令和4年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率(%) (C)/(B)	構成比率 (%)		
					令和5年度	令和4年度	
義務的経費	人件費	10,661,508	10,785,090	△ 123,582	△ 1.1	14.6	15.3
	扶助費	18,643,881	18,601,675	42,206	0.2	25.6	26.4
	公債費	1,377,300	1,441,073	△ 63,773	△ 4.4	1.9	2.0
	小計	30,682,689	30,827,838	△ 145,149	△ 0.5	42.1	43.7
物件費	19,434,083	18,337,744	1,096,339	6.0	26.7	26.0	
補助費等	8,525,609	8,727,257	△ 201,648	△ 2.3	11.7	12.4	
繰出金	5,611,172	5,384,406	226,766	4.2	7.7	7.6	
投資的経費	7,818,580	6,433,048	1,385,532	21.5	10.7	9.1	
その他	849,867	875,707	△ 25,840	△ 3.0	1.1	1.2	
合計	72,922,000	70,586,000	2,336,000	3.3	100.0	100.0	

※ 義務的経費とは、歳出のうち、支出が義務付けられており任意に削減できない経費で、一般的に人件費、扶助費、公債費の合計額をさす。

※ その他は、維持補修費、貸付金、投資及び出資金、積立金、予備費の合計額をさす。

■ 歳出（性質別）構成比の推移（10年間）



※令和3年度までは決算額、令和4年度は決算見込額、令和5年度は予算額の構成比である。

※令和2年度に補助費等が大幅に増えているのは、特別定額給付金事業によるものである。

《主な費目の増減理由》

費目・説明	増減理由
人件費 …報酬、給料、職員手当、共済費などの経費	児童生徒指導に係る人件費5,000万円の増があるものの、退職手当2億900万円の減などにより、1億2,400万円、1.1%の減となった。
扶助費 …生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づいて支給する経費	児童手当1億3,700万円の減、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金3,500万円の減があるものの、介護・訓練等給付費（障害者自立支援給付）1億6,100万円の増、保育所運営1億2,600万円の増などにより、4,200万円、0.2%の増となった。
公債費（再掲） …地方自治体が借り入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費	元金の償還が開始（令和元年度起債の防災行政無線デジタル化工事、学校給食桜堤調理場建設工事）されることによる増があるものの、償還終了（公園建設事業債、消防施設整備事業債等）による減があり、6,400万円、4.4%の減となった。
物件費 …旅費、交際費、消耗品費、役務費、備品購入費、委託料、使用料などの経費	財務会計システム、人事給与システム等の構築・改修作業2億7,200万円の減、小中学校での情報教育指導2億200万円の減などがあるものの、電気料4億3,800万円の増、住民情報系システム構築・改修作業3億7,200万円の増、出産・子育て応援広域連携事業1億2,500万円の増などにより、10億9,600万円、6.0%の増となった。
補助費等 …市民や各種団体などに対する補助金などの経費	民間住宅耐震化促進事業助成金8,300万円の増、子ども協会保育園事業補助金6,600万円の増、商店会活性出店支援金4,500万円の増などがあるものの、中学校改築事業補償金4億1,900万円の減、下水道事業会計負担金9,800万円の減などにより、2億200万円、2.3%の減となった。
繰出金 …一般会計と特別会計相互間で支出される経費	国民健康保険事業会計繰出金1億7,300万円の増、後期高齢者医療会計繰出金3,900万円の増、介護保険事業繰出金1,500万円の増により、2億2,700万円、4.2%の増となった。
投資的経費 …道路、公園、学校、文教施設など公共施設の建設、用地購入等に要する経費	自転車対策事業土地購入費5億1,900万円の減、総合体育館改修1億5,200万円の減などがあるものの、中学校改築事業17億2,300万円の増、公園等建設事業土地購入費2億2,800万円の増、都市計画道路3・4・2号線事業土地購入費2億200万円の増、吉祥寺シアター設備等改修1億3,500万円の増などにより、13億8,600万円、21.5%の増となった。

4 基金・市債の状況

(1) 基金

基金は、条例で定める各基金の目的に沿って積立て及び取崩し、または定額の資金の運用を行っている。財政調整基金は、急激な税収減などによる年度間の財源調整や自然災害への備えのため、特定目的基金は、公共施設等の整備など特定の目的のために設けている。老朽化した施設の更新、公園や都市インフラの整備には、今後30年間で多額の費用が必要と見込まれており、これに対処するため積立てを行っている。

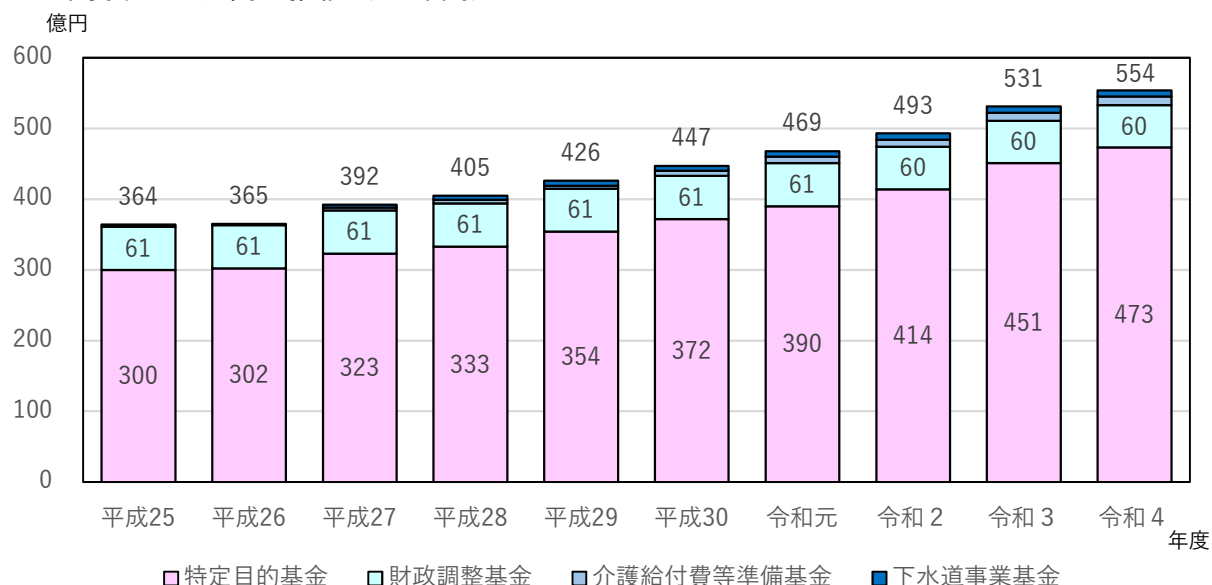
令和5年度当初予算の一般会計基金については、公共施設の工事等に活用するための基金繰入金と、新規積立分を除いた利子収入分の積立金をそれぞれ予算計上し、当初予算ベースの令和5年度末残高は一般会計で524億9,700万円、特別会計、下水道事業会計基金を合わせた合計額は545億6,200万円を見込んでいる。なお、一般会計基金の実際の積立額は、年度末最終補正の収支差分による新規積立分が加わるため増額となる。

■ 基金残高前年度比較

単位：千円

区分	令和3年度末残高	令和4年度末残高 (見込)	令和5年度末残高 (当初予算ベース)	増減額
財政調整基金	6,008,692	6,009,371	6,009,432	61
特定目的基金	公共施設整備基金	17,247,023	18,143,494	△ 208,507
	学校施設整備基金	16,645,679	18,081,942	△ 399,367
	吉祥寺まちづくり基金	4,691,992	4,692,488	△ 61,906
	公園緑化基金	5,229,677	5,230,475	△ 49,895
	その他の特定目的基金	1,291,185	1,175,772	△ 116,533
一般会計合計	51,114,248	53,333,542	52,497,395	△ 836,147
介護給付費等準備基金	1,133,463	1,213,315	1,148,180	△ 65,135
下水道事業基金	876,249	896,249	916,249	20,000
合計	53,123,960	55,443,106	54,561,824	△ 881,282

■ 年度末基金残高の推移（10年間）



※令和3年度までは実績額、令和4年度は見込額である。

(2) 市債（借入金）

市債とは地方自治体が必要な財源を調達するために負う債務で、その履行が一会計年度を越えて行われるものである。市有施設などの建設にあたり資金の借入れを行い、その後最長40年かけて返済していくことにより、建設時点の市民だけではなく施設を利用する次の世代の市民にも負担を求めるという観点により、世代間の公平を保つための方法として位置付けられている。

令和5年度末の一般会計市債残高見込は、前年度から6億5,700万円減少し105億900万円となり、うち減税補てん債は2億200万円となる。下水道事業会計市債残高見込は、前年度から2,700万円増加し、77億9,900万円となる。

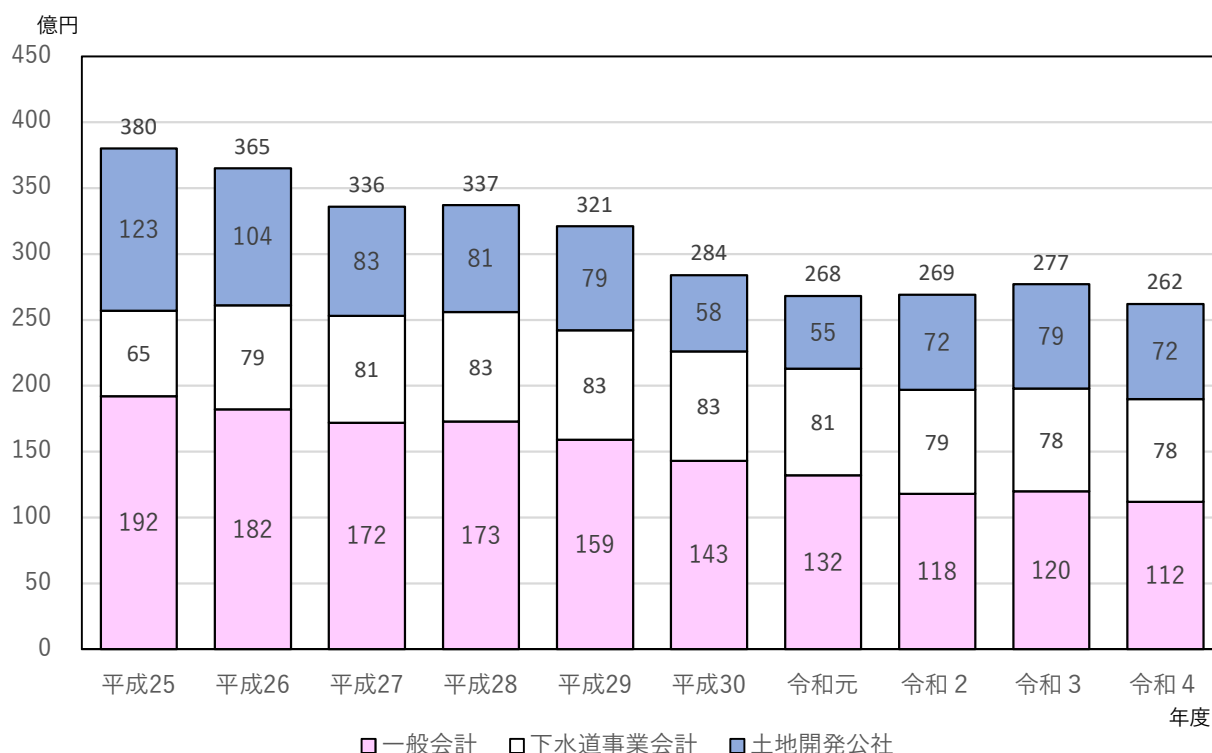
武蔵野市土地開発公社は都市基盤や公共施設の整備拡充のために、「公有地の拡大の推進に関する法律」により事業用地を先行取得している。その財源を確保するため、金融機関から資金の借入を行っている。

■ 市債残高前年度比較

単位：千円

区 分	令和3年度末 残高	令和4年度末 残高（見込）	令和5年度末 残高（見込）	令和5年度 増減額（見込）
一 般 会 計	12,047,901	11,166,291	10,508,993	△ 657,298
下水道事業会計	7,776,046	7,772,088	7,798,842	26,754
土地開発公社	7,851,407	7,229,407	9,915,047	2,685,640
合 計	27,675,354	26,167,786	28,222,882	2,055,096

■ 年度末市債残高の推移（10年間）



※令和3年度までは実績額、令和4年度は見込額である。

5 特別会計

一般会計に特別会計を合わせた武蔵野市全体の予算規模は、総計で1,036億900万円、一般会計から特別会計への繰出金及び特別会計から一般会計への繰出金を除いた純計では977億2,300万円となった。

■ 一般会計・特別会計予算前年度比較

単位：千円

区 分	令和5年度	令和4年度	比較	増減率 (%)	
				令和5年度	令和4年度
一 般 会 計	72,922,000	70,586,000	2,336,000	3.3	1.5
国民健康保険事業会計	13,890,176	13,269,618	620,558	4.7	3.2
後期高齢者医療会計	4,254,973	4,078,393	176,580	4.3	6.9
介護保険事業会計	12,541,661	12,264,706	276,955	2.3	0.0
総 計	103,608,810	100,198,717	3,410,093	3.4	1.7
純 計	97,722,602	94,540,670	3,181,932	3.4	1.5

《特別会計の主な増減理由》

会 計	増 減 理 由
国民健康保険事業会計	予算額は138億9,000万円で、前年度比4.7%、6億2,100万円の増となった。 被保険者数については減少見込みであるものの、一人当たりの療養給付費は増加見込みである。主に歳入では保険給付費等交付金及びその他一般会計繰入金が増額となり、歳出では保険給付費及び国民健康保険事業費納付金が増額となった。
後期高齢者医療会計	予算額は42億5,500万円で、前年度比4.3%、1億7,700万円の増となった。 被保険者数、一人当たりの医療給付費ともに増加見込みである。歳入では保険料及び一般会計繰入金、歳出では後期高齢者医療広域連合に対する負担金が増額となった。
介護保険事業会計	予算額は125億4,200万円で、前年度比2.3%、2億7,700万円の増となった。 被保険者数、保険給付費ともに増加見込みである。主に歳入では介護給付費負担金及び介護給付費交付金、歳出では介護給付費が増額となった。

6 公営企業会計

(1) 水道事業会計

業務予定量は、給水栓数 9 万 2,479 栓、年間総給水量 1,614 万 3,931 立方メートル、1 日平均給水量は、4 万 4,109 立方メートルとした。

収益的収入は水道事業収益 38 億 200 万円で、主なものは給水収益 34 億 8,800 万円と見込んだ。収益的支出は水道事業費 37 億 5,600 万円で、主なものは原水及び浄水費の中の受水費 16 億 9,200 万円と見込んだ。収益的収入から収益的支出を差引いた税込みの利益は 4,600 万円を見込んだ。

資本的収入は 3 億 900 万円を見込んだ。資本的支出 9 億 400 万円のうち水道施設の維持更新に係るものは、配水施設費 3 億 8,700 万円、原水及び浄水施設改良工事費 1 億 2,100 万円で、古い鑄鉄管の改良工事を 95 メートル、配水補助管の改良工事を 1,415 メートル行い、その結果、水道管の耐震化率は 49.2% となる見込みである。資本的収入から資本的支出を差引いた 5 億 9,500 万円の不足額は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金及び損益勘定留保資金で補填する予定である。

■ 水道事業会計予算前年度比較

単位：千円

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	比 較	増減率 (%)	
				令和 5 年度	令和 4 年度
収益的収入	3,801,849	3,745,081	56,768	1.5	0.8
収益的支出	3,755,938	3,692,212	63,726	1.7	0.8
資本的収入	309,228	278,286	30,942	11.1	6.6
資本的支出	904,340	908,232	△3,892	△0.4	△3.7

(2) 下水道事業会計

業務予定量は、年間有収水量 1,665 万 4,759 立方メートル、1 日平均有収水量は、4 万 5,505 立方メートルとした。

収益的収入は下水道事業収益 28 億 9,300 万円で、主なものは下水道使用料 14 億 7,100 万円と見込んだ。収益的支出は下水道事業費用 28 億 3,400 万円で、主なものは流域下水道等管理費 11 億 2,200 万円及び減価償却費 8 億 5,900 万円と見込んだ。収益的収入から収益的支出を差引いた税込みの利益は 5,900 万円を見込んだ。

資本的収入は 6 億 3,200 万円を見込んだ。資本的支出 10 億 5,300 万円の主なものは、管きよ建設改良費 4 億 5,500 万円、企業債償還金 3 億 4,900 万円で、主要な建設改良事業は、ストックマネジメント推進事業（改築（委託））1 億 7,600 万円及びストックマネジメント推進事業（改築（工事））1 億 5,300 万円である。資本的収入から資本的支出を差引いた 4 億 2,100 万円の不足額は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補填する予定である。

■ 下水道事業会計予算前年度比較

単位：千円

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	比 較	増減率 (%)	
				令和 5 年度	令和 4 年度
収益的収入	2,892,942	3,019,212	△126,270	△4.2	△2.8
収益的支出	2,834,325	2,916,213	△81,888	△2.8	△4.1
資本的収入	632,189	700,163	△67,974	△9.7	△35.4
資本的支出	1,052,783	1,110,981	△58,198	△5.2	△22.9

7 特徴ある事業

目 次

I 健康・福祉

- 支え合い、安心して暮らし続けられるまちへ …………… 14
- 生命と健康を守るための取組み …………… 16
- 福祉施設の再整備 …………… 17

II 子ども・教育

- 子ども・子育てを応援する施策の充実 …………… 18
- 子どもの「生きる力」を育む教育と学校施設の整備 …………… 20

III 平和・文化・市民生活

- 多様性を認め尊重し合う平和な社会へ …………… 22
- コミュニティ・市民活動の活性化に向けた取組み …………… 23
- 災害に強いまちづくりを目指して …………… 24
- 文化・生涯学習活動の連携と推進 …………… 25
- まちの魅力を高める産業の振興 …………… 26

IV 緑・環境

- 環境と調和したまちづくりの推進 …………… 28
- まちの緑を守り育てる取組み …………… 29

V 都市基盤

- 個性をいかした魅力的なまちづくり …………… 30
- 安全・安心なみちと住環境の構築 …………… 32
- 計画的な上・下水道の管理 …………… 33

VI 行財政

- 社会の変化に対応した市政運営 …………… 34

NEW

… 新規事業

LEVELUP

… 拡大・充実事業（予算額に「*」のある事業は、既存事業の金額を含む）

ふるさと

… 武蔵野市ふるさと応援基金を充当する事業

支え合い、安心して暮らし続けられるまちへ

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、まちぐるみの支え合いの取り組みを着実に進める。一人ひとりの悩みや課題に寄り添い、様々な関係機関が連携して必要な支援につなげることのできる相談支援ネットワークを強化する。

LEVELUP

1 健康長寿のまち武蔵野推進月間の実施

楽しく！ 元気に！ 長生き！！

健康長寿のまちを推進するため、9月を「健康長寿のまち武蔵野推進月間」として、高齢者を中心に幅広く市民への認知症及びフレイル予防の普及啓発をし、健康づくりを実践できるきっかけづくりとなる講演会等の様々な事業を実施する。

《民生費 ○社会参加促進事業》



▲いきいき体操～吉祥寺 de ちょいトレ～

予算額 2,549 千円 *



LEVELUP

2 第4期健康福祉総合計画

及び各個別計画の策定

新設する健康福祉施策推進審議会において、令和4年度の各種実態調査等の結果を踏まえ、第4期健康福祉総合計画・第6期地域福祉計画・第2期成年後見制度利用促進基本計画・再犯防止推進計画、高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画、障害者計画・第7期障害福祉計画、第5期健康推進計画・食育推進計画・自殺総合対策計画を策定する。

《民生費 ○一般管理経費 ○障害者自立支援給付等事業》

《衛生費 ○一般管理経費》

予算額 29,040 千円

3 いきいきサロン事業

高齢者の社会的孤立感の解消と健康寿命の延伸を図り、住み慣れた地域で在宅生活を送れるよう、いきいきサロンを開設・運営する団体に対して、運営費補助及び開設・運営支援を行う。7年以上活動した団体に物品等の更新費用を補助する。

《民生費 ○社会参加促進事業》

予算額 8,191 千円

4 福祉総合相談窓口

予算額 12,924 千円

「8050問題」やひきこもり等の多様かつ複合的な課題を抱える方からの相談窓口として、令和3年4月に設置した福祉総合相談窓口について、引き続き個々の相談に対し分野横断的に関係機関と連携しながら課題の解決に向けた包括的・継続的支援を行う。

《民生費 ○重層的相談支援体制推進事業》

5 生活困窮者自立支援事業

予算額 131,656 千円

多様な課題を抱えた生活困窮者に対し、包括的な相談支援を実施し早期自立を支援する。生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援事業の実施、住居確保給付金の支給のほか、生活困窮者への本市独自の支援策として住居契約更新料給付金、特別就職支援金の支給を行う。

《民生費 ○生活困窮者自立支援事業》

6 成年後見制度連携ネットワークと 成年後見利用支援センターの運営

予算額 8,345 千円

成年後見人等と関係機関との連携を図るための地域連携ネットワークを構築するほか、武蔵野市成年後見利用支援センター((公財)武蔵野市福祉公社に委託)において、相談支援や普及・啓発等を行う。

《民生費 ○権利擁護事業》

7 高齢者等緊急訪問介護事業 (レスキューヘルパー事業)

予算額 2,924 千円

高齢者本人が急病などで一時的な支援が必要な場合に、ひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯及び障害等がある65歳未満の方がいる世帯に対して、レスキューヘルパー(高齢者等緊急訪問介護)事業を引き続き実施する。また、高齢者本人・家族が新型コロナウイルスに感染し自宅療養となった際にも、感染症対応レスキューヘルパーを派遣する。

《民生費 ○高齢者日常生活支援事業》

担当	電話	該当事業
健康福祉部地域支援課	☎0422-60-1941	2・6
健康福祉部生活福祉課	☎0422-60-1254	4・5
健康福祉部高齢者支援課	☎0422-60-1940	1・3・7

生命と健康を守るための取組み

コロナ禍において、市民のいのちを守る取組みを着実に進めるとともに、誰もがより長く元気に暮らすことができる社会を目指し、健康づくりを積極的に支援する。

NEW

1 国民健康保険データヘルス計画 ・特定健康診査等実施計画の改定

予算額 8,000 千円

国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸と事業の適正な運営を目指し、健康・医療データ(特定健康診査、レセプト等)の分析、健康課題の明確化、効果的かつ効率的な保健事業の立案を行い、計画の改定を行う。

《国民健康保険事業会計 ○健康保持増進事業》

2 がん検診等事業の推進

予算額 218,019 千円

がんによる死亡率減少を目指し、効果的な受診勧奨と胃がん・肺がんセット検診、女性のための託児付き3がんセット検診等の実施により受診者の利便性を向上させるほか、がん征圧月間に合わせて啓発をすることで、受診率の向上を図る。

《衛生費 ○老・成人保健事業》



胃がん検診の様子 ▶

3 在宅医療・介護連携推進事業

予算額 8,797 千円

医療と介護の両方を必要とする高齢者等が安心して在宅生活を送れるよう、医療・介護関係者の合同研修や相談・調整を行い連携を推進する。講演会の開催やリーフレットの配布等、在宅療養に関する普及・啓発を行う。

《民生費 ○在宅医療・介護連携推進事業》

担当	電話	該当事業
健康福祉部地域支援課	☎0422-60-1941	3
健康福祉部健康課	☎0422-51-7006	2
健康福祉部保険年金課	☎0422-60-1834	1

福祉施設の再整備

高齢者や障害のある方をはじめ誰もが住み慣れた地域で、自分らしい生活を継続できるように、必要な基盤整備を計画的に進める。福祉施設の維持管理及び更新について、サービスが持続的に提供できるように計画に基づき整備を行う。

NEW

1 高齢者総合センター大規模改修工事実施設計

予算額 44,839 千円

第2期武蔵野市公共施設等総合管理計画及び保全改修計画に基づく大規模改修工事を行うため実施設計を行う。令和6年度から令和7年度にかけて工事を予定している。

〈民生費 ○高齢者総合センター管理運営事業〉



高齢者総合センター ▶

NEW

2 高齢者総合センター・障害者福祉センター 仮施設設置関連工事

予算額 28,813 千円

高齢者総合センター大規模改修及び障害者福祉センター改築工事期間中の移転先となる仮施設を設置するため、設置予定地である旧中町自転車保管所の敷地内の支障物を撤去するとともに、フェンスの設置やインフラ接続工事等を実施する。

〈民生費 ○高齢者総合センター管理運営事業〉

ふるさと

3 障害者福祉センター改築工事基本設計・実施設計

予算額 12,600 千円

障害者福祉センターの改築に向けて、令和4年度は基本計画を策定した。令和5年度から令和7年度にかけて基本設計・実施設計を行う。令和7年度内に着工し、令和10年度の供用開始を予定している。

〈民生費 ○障害者福祉センター管理運営事業〉

4 保健センター増築及び複合施設整備事業

予算額 81,167 千円

保健センターの増築及び大規模改修を行い、保健衛生機能を充実させ、かつ子どもと子育て家庭への支援施設を含む複合施設として整備する。令和5年度は前年度から引き続き基本設計を行い、実施設計に着手する。

〈衛生費 ○保健センターの管理運営〉

担当	電話	該当事業
総合政策部企画調整課	☎0422-60-1970	4
健康福祉部高齢者支援課	☎0422-60-1940	1・2
健康福祉部障害者福祉課	☎0422-60-1904	3

子ども・子育てを応援する施策の充実

誰もが安心して子どもを産み育てられるような環境を整備し、多様な主体による子育て支援の充実等、子育て世代への総合的な支援を行うことで、子どもたちが希望を持ち、健やかに過ごせるまちづくりを目指す。

LEVELUP

1 子どもの最善の利益を尊重する社会の実現に向けた取組み

予算額 22,654 千円 *

子どもの最善の利益を尊重する社会の実現に向けた啓発等を充実させる。また、子どもの意見表明の機会を充実させるため、中高生世代ワークショップ「Teens ムサカツ」を専門的知見を有する事業者に委託して実施する。

〈総務費 ○児童対策事業〉



▲Teens ムサカツの様子

ふるさと

2 子どもの医療費助成事業

予算額 697,981 千円

全ての子どもの保健の向上を図り、健やかな成長を支援するため、乳幼児、義務教育就学児及び高校生等の保険診療自己負担分を助成する(所得制限・自己負担なし)。

〈民生費 ○子どもの医療費助成事業〉

LEVELUP

3 産後ケア事業

予算額 39,277 千円 *

産後のサポートが必要なお母さんと赤ちゃんが、心身のケアや育児のサポート等を受ける産後ケア事業について、宿泊型・日帰り型・訪問型の3種類を拡充し実施することにより、産後も安心して子育てを行うことができる環境の充実を図る。

〈衛生費 ○母子保健事業〉

4 出産・子育て応援事業

予算額 125,533 千円

全ての妊産婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠から出産・子育てまで一貫して寄り添いながら相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図り、出産・子育て応援ギフトの支給による経済的支援を一体的に実施する。

〈衛生費 ○母子保健事業〉

LEVELUP

5 民間子育て支援施設事業

予算額 65,816 千円 *

地域の子育て支援ニーズに対応し、多様な主体による子育て支援を推進するため、民間団体による地域子育て支援拠点施設の運営費補助を行うとともに、新規施設の開設に向け、運営事業者の公募を行う。

《民生費 ○民間子育て支援施設事業》

NEW

6 第六次子どもプラン武蔵野の策定

予算額 9,677 千円

全ての子どもたちが健やかに育ち、全ての子育て家庭が安心して子育てできるよう、子どもに関する施策・事業を総合的に取り込む第六次子どもプラン武蔵野(令和7～11年度)を2か年で策定する。

《総務費 ○児童対策事業》

LEVELUP

7 民間学童クラブの開設支援

予算額 60,823 千円 *

就労等により子どもの学童利用を希望する保護者が増加しているため小学校内での育成スペースの確保が難しくなっている。また、保護者の就労の多様化に対応する必要もあることから、民間事業者による学童クラブの市内での開設を支援する。

《民生費 ○学童クラブ事業》

NEW

8 子どもの手当・助成に関する窓口DXの試行 (書かない・待たない・スムーズな窓口の実現)

予算額 7,642 千円

子どもに係る手当や助成等の申請に関して、タブレット等への入力により手続きを行う「書かない窓口」を導入し、市民(来庁者)の手続負担の軽減や待ち時間・対応時間の短縮、職員の負担軽減と業務の効率化を図る。

《民生費 ○一般管理経費》

NEW

9 市立保育園における 医療的ケア児受入体制の整備

予算額 16,162 千円

市立保育園において、医療的ケアが必要な乳幼児の保育に必要な体制を整備する。医療的ケア児に関する相談窓口である医療的ケア児コーディネーターとも連携し、保育園での生活を通じて他の子どもとともに成長できる保育を確保する。

《民生費 ○市立保育園運営事業》

担当	電話	該当事業
健康福祉部健康課	☎0422-51-0700	3・4
子ども家庭部子ども子育て支援課	☎0422-60-1851	1・2・5・6・8
子ども家庭部子ども育成課	☎0422-60-1854	9
子ども家庭部児童青少年課	☎0422-60-1853	7

子どもの「生きる力」を育む教育と学校施設の整備

これからの時代に必要となる資質・能力を育成する取組みを進め、指導及び相談体制の充実や、地域との協働を目指す。また、更新時期を迎える小中学校の改築を着実に進める。

LEVELUP

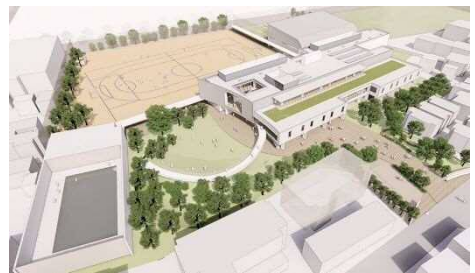
1 学校改築事業

第一中学校及び第五中学校は、解体工事を完了し、改築工事に着手する。また、第五小学校及び井之頭小学校は、令和4年度に策定した改築基本計画に基づき、地域の意見を聴きながら、基本設計を行う。

《教育費 ○一般管理経費 ○小学校改築事業 ○中学校改築事業》

第五中学校改築イメージ図 ▶

予算額 3,361,057 千円 *



2 関前南小学校増築事業

児童増及び小学校35人学級の導入に対応するため、関前南小学校について、増築により普通教室を確保する。

《教育費 ○校舎等施設維持管理》

予算額 172,750 千円

NEW

3 第四期学校教育計画の策定

本市の教育の現状と課題を整理し、目指す方向を明らかにするため、第四期学校教育計画(令和7～11年度)の策定に着手する。併せて、子ども、保護者及び教員を対象としたアンケート調査を行う。

《教育費 ○一般管理経費》

予算額 2,718 千円

LEVELUP

4 教育の質の向上と教員の働き方改革の推進

一部教科の授業を担当に代わって担当する本市独自の市講師の配置を拡充し、小学校高学年における教科担任制を推進することで、教材研究等の充実による授業の質の向上を図るとともに、教員の働き方改革を進める。また、放課後等に学習支援教室を実施するほか、学習指導補助員を配置することにより、個に応じた指導を一層進める。

《教育費 ○児童生徒指導》

予算額 95,901 千円 *

LEVELUP

5 学校図書館の機能の充実

児童生徒が授業中を含め、さらに自由に学校図書館を活用できるように、教員との連絡調整の時間の確保や、開館時間の延長を行うため、学校図書館サポーターの勤務時間等を拡充する。併せて「学校司書」と名称を変更する。また、児童生徒の学校内の教室以外の居場所として、試験前など放課後の自習場所としての活用を図る。

《教育費 ○児童生徒指導》

予算額 33,752 千円 *

LEVELUP

6 学習者用コンピュータ活用の推進とICT機器の追加整備

予算額 129,766 千円 *

小中学校の児童生徒1人につき1台を整備した学習者用コンピュータを活用した授業を実施するとともに、必要な知見を蓄積し、教職員の習熟を図るため、令和3年度からの3年間で学習者用コンピュータ活用の指針を定める。

また、ICT機器を追加整備し、既存機器の老朽化及び学級増への対応を行う。電子黒板機能付き大型ディスプレイの導入により、照度及びスクリーン破損の課題を解決することなどで学びの充実を図る。

《教育費 ○情報教育指導》

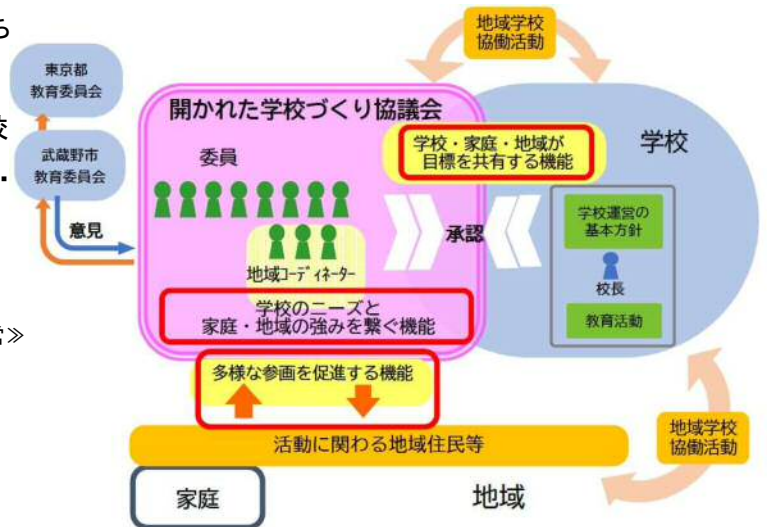
LEVELUP

7 学校・家庭・地域の協働体制の充実

予算額 7,435 千円 *

新しい時代を生きる子どもの豊かな学び・育ちを支えるため、「開かれた学校づくり協議会」において学校運営協議会機能を活用し、地域学校協働本部機能と一体的に推進することで、学校・家庭・地域の協働体制の充実を図る。令和5年度から2年間、モデル校2校で実施する。

《教育費 ○児童生徒指導 ○教育推進室の運営》



LEVELUP

8 不登校対策と教育相談の総合的推進

予算額 166,379 千円 *

教育支援センター等での教育相談を通じて子どもの成長発達を支援する。スクールソーシャルワーカーを中心に不登校対策を推進する。また、家庭と子どもの支援員(常駐型)を拡充し、校内支援体制を強化する。

《教育費 ○教育相談事業》

LEVELUP

9 特別支援教育の推進

予算額 168,503 千円 *

障害種別ごとの特別支援学級、全小中学校における特別支援教室を運営する。医療的ケア児等、障害や特性に応じた教育を受けられるよう整備を行う。

《教育費 ○知的障害学級運営 ○難聴・言語障害学級運営 ○肢体不自由学級運営 ○院内病弱学級運営 ○情緒障害学級運営》

担当	電話	該当事業
教育部教育企画課	☎0422-60-1894	1～3
教育部指導課	☎0422-60-1897	4～7
教育部教育支援課	☎0422-60-1908	9
教育支援センター	☎0422-60-1899	8

多様性を認め尊重し合う平和な社会へ

一人ひとりの多様性を認め合い、尊重し合う社会の構築を目指す。武蔵野の歴史がもたらす平和への強い思いを語り継ぐための平和施策を推進する。

1 平和・憲法啓発事業

戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に継承していくため、市民とともに平和啓発事業を実施する。また、武蔵野市第六期長期計画に基づき、平和施策のあり方について有識者や市民からなる平和事業のあり方懇談会(仮称)で意見を伺い、検討を進める。5月には市民に憲法への関心と認識を深めてもらう事業を行う。

《総務費 ○平和・憲法啓発事業》

▶ 青少年平和交流派遣事業
平和公園見学の様子

予算額 4,739 千円



LEVELUP

2 男女平等推進施策事業

武蔵野市男女平等の推進に関する条例に基づき、研修・啓発、情報収集・提供、団体支援、相談事業等のほか、パートナーシップ制度の推進、次期男女平等推進計画の策定を行う。

《総務費 ○男女平等推進施策事業》

予算額 24,533 千円 *

NEW

3 多文化共生推進事業

日本人と外国人がともに理解し、尊重し合い、活躍できる環境の整備を積極的に図るため、令和4年度に策定した武蔵野市多文化共生推進プランに基づき、多文化共生の取組みを進める。

《総務費 ○一般管理経費》

予算額 2,750 千円

LEVELUP

4 窓口業務での通訳及び翻訳サービスの本格導入

市役所窓口での外国人市民や聴覚障害のある市民等との言語障壁を取り除くため、タブレット端末を用いたオンライン通訳サービスを本格導入し、手話通訳サービスの追加及び機器の増設を行う。また、翻訳サービスを利用して申請書類等の多言語化を推進し、日本語を母語としない市民の手続きの円滑化を図る。

《総務費 ○一般管理経費》

予算額 986 千円 *

担当	電話	該当事業
市民部市民活動推進課	☎0422-60-1829	1
男女平等推進センター	☎0422-37-3410	2
市民部多文化共生・交流課	☎0422-60-1806	3・4

コミュニティ・市民活動の活性化に向けた取組み

これまでの半世紀にわたる市民参加、市民自治の取組みを継承し、コミュニティ活動や市民活動がより持続的・発展的に展開されるよう支援する。

LEVELUP

1 コミュニティセンターの管理運営及び コミュニティ活動の推進

予算額 485,564 千円

コミュニティ協議会によるコミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動を支援する。施設の適切な維持修繕を行うとともに、武蔵野市コミュニティセンター整備計画に沿って保全改修を進める。中央コミュニティセンターについては、エレベーター設置によるバリアフリー化のための調査・検討を行う。

〈総務費 ○コミュニティセンターの管理運営・コミュニティ活動〉



▲コミセンまつりの様子

NEW

2 吉祥寺本町一丁目23番街区 利活用に関する検討

予算額 3,000 千円

吉祥寺本町一丁目23番街区の利活用について、市民やまちの関係者の幅広い意見を取り入れながら、本町コミュニティセンターの施設移転を含め具体的な検討を進める。

〈総務費 ○企画調整〉



▲吉祥寺本町一丁目23番街区

担当	電話	該当事業
総合政策部企画調整課	☎0422-60-1982	2
市民部市民活動推進課	☎0422-60-1830	1

災害に強いまちづくりを目指して

災害による被害を最小限に抑えるため、事前予防の取組みを継続するとともに、応急活動体制の整備を進める。

NEW

1 消防団第2分団詰所の改築

第2期武蔵野市公共施設等総合管理計画及び武蔵野市消防団詰所整備計画に基づき、老朽化した消防団詰所を建て替えることで吉祥寺地区の防災力の維持・向上を図る。

〈消防費 ○消防施設維持管理〉



▲武蔵野市消防団出初式

予算額 12,722 千円



▲第2分団詰所

2 耐震化促進事業

震災時に沿道建築物の倒壊による道路閉鎖を防ぎ、救急救命、消火活動、物資の輸送等が支障なく行えるように、東京都と連携を図りながら緊急輸送道路沿道建築物等の耐震化に要する費用の一部を助成する。

また、住宅やマンションの耐震化に要する費用の一部助成や専門家派遣による支援を行い、耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、耐震化促進の取組みを行う。

〈土木費 ○住宅対策事業〉

予算額 295,717 千円

大切な家族、自らの命、
地域を守ろう！
住宅の耐震化の取組みを
支援します！

※耐震化助成制度、
アドバイザー派遣制度ともに、
事前の相談が必要です。



担当	電話	該当事業
防災安全部防災課	☎0422-60-1821	1
都市整備部住宅対策課	☎0422-60-1976	2

文化・生涯学習活動の連携と推進

これまでに築き上げた本市の多様な文化を大切に守り発展させ、魅力あるまちであり続けるよう文化の醸成に努める。参加と学びの循環を作り出すことで、成熟した生涯学習社会の実現を目指す。

NEW

1 武蔵野公会堂改修等基本設計関連事業

予算額 28,102 千円

周辺エリアのまちづくりの動きを見据え、既存施設を活用した改修等により、老朽化した設備の更新やバリアフリー化とともに文化施設としての機能向上を図る。令和4年度策定の基本計画に基づき、設計事業者を選定し、改修等工事の設計に着手する。工事は令和7年度から令和8年度にかけて実施予定である。 <総務費 ○公会堂の管理運営>



▲武蔵野公会堂で実施した社会実験の様子

ふるさと

2 武蔵野アール・ブリュット2023の開催

予算額 3,600 千円

アートを通じた多様性を大切にする地域づくりの一環として、市民による実行委員会、(公財)武蔵野文化生涯学習事業団とともに、12月に吉祥寺美術館を会場としてアール・ブリュット展を行う。



◀ 武蔵野アール・ブリュット
(吉祥寺美術館ホームページ)



<総務費 ○吉祥寺美術館の管理運営>

◀ アール・ブリュット実行委員会
(Facebookページ)

NEW

3 体育施設の改修

予算額 129,616 千円

誰もがスポーツを快適に楽しむことができるように総合体育館の長寿命化を図るため、保全と機能改善等の大規模改修に向けて、工事内容の精査及び調整を踏まえて基本計画を策定する。

また、5年ごとに更新が必要な陸上競技場の第三種公認検定を受けるため、改修工事と備品の購入を行う。

<教育費 ○体育施設一般管理経費>

担当	電話	該当事業
市民部市民活動推進課	☎0422-60-1831	1・2
教育部生涯学習スポーツ課	☎0422-60-1903	3

まちの魅力を高める産業の振興

取り巻く環境が時代とともに変化する中においても産業の歩みを進めていくため、地域産業活性化に向けた事業者への支援を引き続き行う。また、限られた農地を保全するとともに、産業としての農業を継続して支援する。

ふるさと

1 産業連携プロジェクトCO+LAB MUSASHINO事業

予算額 5,023 千円

第二期武蔵野市産業振興計画に掲げる「まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興」を目指して、この事業を契機に事業者同士が連携し、新たな商品や事業を起こせる仕掛けづくりの場を提供する。令和5年度も前年度に引き続き試行実施する。

〈商工費 ○産業連携プロジェクト事業〉

イベントでの市内産ホップを使用したクラフトビール販売の様子 ▶



LEVELUP

2 第三期武蔵野市産業振興計画の策定

予算額 7,830 千円

令和4年度に実施した、本市における産業の特性等の把握を目的とした基礎調査に基づき、第三期武蔵野市産業振興計画(令和6～10年度)の策定を行う。

〈商工費 ○商工振興事業〉

3 武蔵野市ふるさと応援寄附の充実

予算額 45,112 千円

寄附金を活用して市民サービスの充実を図るとともに、体験型等も含めた地域の魅力的な返礼品の拡充に努め、本市のPRや魅力発信、地域産業の振興につなげる。

〈商工費 ○武蔵野市ふるさと応援寄附〉



▲武蔵野市ふるさと応援寄附ホームページのURL
https://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_tetsuzuki/furusatonozei/index.html

▲武蔵野市ふるさと応援寄附返礼品の一例

NEW

4 商店会地区サポート事業

予算額 2,000 千円

商店会同士の更なる連携強化やデジタル化の推進のために、地区商連等が実施する事業に対し、経費の2分の1を補助する。令和5年度は中央地区で試行実施する。

〈商工費 ○路線商業活性化総合支援事業〉

5 武蔵野市商店会活性出店支援金

予算額 74,476 千円

令和5年度に市内の空き店舗または事務所へ出店し、かつ商店会等に参加して事業開始時及び6か月経過時に申請をした事業者、または令和4年度に出店した事業者のうち、6か月経過時に申請をする事業者に対して支援を行う。

〈商工費 ○中小企業者等追加経済対策事業〉

6 認定農業者等経営改善支援補助事業

予算額 10,385 千円

認定農業者及び令和2年度に創設した本市独自制度に基づく都市型認定農業者の経営改善目標を達成するため、農業用機械の導入等を行う場合、認定農業者は年間66万円、都市型認定農業者は33万円を上限に、経費の2分の1を補助する。

〈農業費 ○農業振興事業〉

7 都市農地保全支援プロジェクト

予算額 6,532 千円

農地の持つ防災や環境保全等の多面的機能をより発揮させるとともに、地域住民に配慮した基盤整備を目的とし、土留め、フェンス及び防災兼用農業用井戸(発電機を含む。)の設置について補助を行う。

〈農業費 ○農業振興事業〉

本事業により設置したフェンス ▶



担当	電話	該当事業
市民部産業振興課	☎0422-60-1832	1~7

環境と調和したまちづくりの推進

日々変化する環境問題に対応し、次世代に持続可能なまちを引き継ぐための活動を継続的に行っていく。そのために活動に参加しやすい仕組みづくりや、各主体の新たな連携や協働の可能性を模索しながら、環境と調和したまちづくりを進めていく。

NEW

1 気候市民会議を踏まえた取組み

(1) 気候危機打開武蔵野市民活動プラン(仮称)の作成

予算額 8,397 千円

地球温暖化・気候変動対策を広く市民に周知するため、気候市民会議の議論を踏まえた気候危機打開武蔵野市民活動プラン(仮称)及びプランを補完し具体的な対策を例示するブックレット等を作成し、市内全戸に配布する。

〈衛生費 ○環境啓発施設事業〉

気候市民会議の様子 ▶



(2) むさしのゼロカーボン大賞事業(仮称)

予算額 500 千円

気候市民会議を契機とし、市民の地球温暖化対策の取組みに対する機運を高め、活動の輪を広げていくことを目的に、市民の優れた取組みを表彰し、SNS等により紹介する。

〈衛生費 ○環境対策推進事業〉

(3) 家庭向け再エネ電気切替協力金支給事業

予算額 4,134千円

家庭における再エネ電気への切替を後押しするため、実質再エネ100%の電気に切り替えた家庭に対し、協力金を支給する。

〈衛生費 ○環境対策推進事業〉

NEW

2 公共施設の実質再エネ100%電力の導入

予算額 8,775 千円

市域における再エネ利用を促進するため、市が率先して、小中学校等の主要な公共施設(51施設)において、実質再エネ100%電力を導入する。

〈各款〉

担当	電話	該当事業
環境部環境政策課	☎0422-60-1841	1~2

まちの緑を守り育てる取組み

公園緑地の整備により新たに緑を創出することで、本市の魅力の一つである緑豊かなイメージをより一層高めるとともに、減少傾向にある民有地の緑の保全を行い、緑を基軸としたまちづくりを推進していく。

ふるさと

1 公園等建設事業

八幡町二丁目地内に公園の新設を行うとともに中央高架下公園のリニューアル及びむさしの市民公園の木製複合遊具、西久保児童公園のコンクリート遊具の更新等を実施する。また、まちに潤いを与え良好な景観をもたらす街路樹の保全と更新を行う。

さかい西公園の木製複合遊具 ▶
(令和3年度整備)

予算額 548,995 千円



(1) (仮称)八幡町二丁目公園

八幡町二丁目地内にある都市整備部資材置場の老朽化に伴い、施設の更新及び公園の新設整備を行う。引き続き資材置場としての機能を維持しつつ、同敷地に面している千川上水と一体的に整備を行い散策時の休憩スポットを創出する。また、幼児用遊具の設置により地域の新たな交流拠点となるよう整備を行う。

(2)中央高架下公園

「だれもが利用できる全天候・多世代型の公園」をテーマに日本町地内避難誘導広場と一体化し、公園部分と通路機能を分け、遊び型の公園として令和4年度に引き続きリニューアル整備を行う。令和5年度は、障害の有無に関わらず、一緒に遊べるインクルーシブな空間を創出するため、市内では初めてとなるユニバーサルデザイン遊具を設置し、同遊具を配置する区域は全面ゴムチップによる整備を行う。

◀土木費 ○公園等建設事業▶

NEW

2 緑の基本計画2019 中間まとめの策定

武蔵野市緑の基本計画2019について、計画の個別・具体的取組状況の把握・検証を行い、進捗状況を各分野と共有するとともに、令和6年度に予定している自然環境等実態調査に向けた調査項目・指標を検討する。

◀土木費 ○緑化推進事業▶

予算額 2,442 千円

LEVELUP

3 保存樹林等の指定及び助成

民有地の緑の保全を推進するため、保存樹林等の指定を行い、樹木診断の実施や補助金によって所有者の維持管理の負担軽減を図る。また、豊かな緑のある景観を継承するため、市指定文化財と連携した新たな助成制度を創設する。

◀土木費 ○緑化推進事業▶

予算額 17,536 千円 *

担当	電話	該当事業
環境部緑のまち推進課	☎0422-60-1863	1～3

個性をいかした魅力的なまちづくり

これまで培った良好な都市景観を今後も大切に、地域の魅力や価値を向上させるため、市民と市が連携・協働し、三駅圏それぞれの地域の魅力をいかしながら、活力と賑わいを創出する取組みを推進する。



1 吉祥寺のまちづくり

(1) 吉祥寺駅南口周辺交通体系検討

予算額 9,409 千円

吉祥寺駅南口を中心とした交通環境の改善に向け、令和4年度末に取りまとめた「吉祥寺駅南口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」に基づき、関係機関との意見交換や技術的検討を行う。

《土木費 ○吉祥寺駅周辺整備計画》



▲吉祥寺駅南口周辺

(2) 吉祥寺パークエリア まちの将来像策定に向けた地域展開

予算額 8,860 千円

令和3年度から庁内プロジェクトで作成している「(仮称)吉祥寺パークエリアまちの将来像立案に向けて」について、市民やまちの関係者に周知する。

《総務費 ○企画調整》

(3) (仮称)吉祥寺本町一丁目27番街区 自転車駐車場整備

予算額 117,600 千円

活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくりを推進するため、(仮称)吉祥寺本町一丁目27番街区自転車駐車場の整備を行い、吉祥寺東部地区に点在する市有地を暫定利用している自転車駐車場の集約化を行う。

《土木費 ○自転車対策事業》

(4) 吉祥寺エリアにおける駐車場整備ルールの検討

予算額 3,500 千円

吉祥寺エリアでは駐車場附置義務が建物更新を阻害し、また街並みの連続性を損なわせる傾向がある。東京都の条例改正により鉄道駅周辺における地域ルール制度が創設されたことを受け、柔軟な施設配置・集約化に向けた検討を行う。

《土木費 ○一般管理経費》

(5) 吉祥寺ウエストエリアの交通環境改善調査

予算額 2,981 千円

住環境と商業環境の調和したまちづくりを目指す吉祥寺ウエストエリアにおいて、安心して歩行できる環境と必要な自動車アクセスの両立に向け、課題の整理や実現手法の検討を行う。

《土木費 ○吉祥寺方式物流対策事業》

2 三鷹駅北口交通環境基本方針の策定

予算額 10,948 千円

令和4年度に実施した「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」に対する地域の方々等との意見交換を踏まえて、基本方針を策定する。

《土木費 ○一般管理経費》



▲三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けたオープンハウス

3 都市計画道路(天文台通り)の整備促進

予算額 712,570 千円

平成29年度に事業採択された「第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業(東京都)」に伴う都市計画道路3・4・2号線(天文台通り)の用地取得等を行う。

《土木費 ○都市計画道路3・4・2号線事業》



▲天文台通り

担当	電話	該当事業
総合政策部企画調整課	☎0422-60-1982	1(2)
都市整備部まちづくり推進課	☎0422-60-1872	1(4)・2
都市整備部吉祥寺まちづくり事務所	☎0422-21-1118	1(1)・(5)
都市整備部交通企画課	☎0422-60-1860	1(3)・3

安全・安心なみちと住環境の構築

将来にわたり安全・安心な道路サービスを提供できるよう整備を行い、景観に配慮した道路環境を整備することでまちの魅力の向上を図る。また、住環境づくりにおいては、新たな住宅セーフティネット制度を踏まえ、官民一体の包括的な対応を進める。

1 橋りょう長寿命化事業

予算額 120,257 千円

本村橋、八丁橋等8橋の定期点検及び曙橋等2橋の補修設計を行う。既に着手している「よろず橋架け替え工事」を令和5年度中に完了させる。

《土木費 ○橋りょう新設改良事業》

ふるさと

2 景観道路事業

予算額 245,392 千円

良好な道路景観の創出、防災機能の向上及び歩行空間の確保を図るため、景観道路事業を推進する。令和5年度は、市道第16号線(かたらいの道)等の連系引込管工事や道路改修工事を行う。

《土木費 ○景観道路事業》

LEVELUP

3 装飾街路灯(水銀灯)LED化事業

予算額 98,000 千円

市内に約400基ある装飾街路灯は大半が高圧水銀ランプであるが、水銀に関する水俣条約によりランプの製造・輸出入が禁止されたことにより、ランプ・灯具の更新ができなくなる。そのため、令和5年度から2か年でLED化を進める。

《土木費 ○街路灯維持管理》



LED化後の大型街路灯 ▶

LEVELUP

4 あんしん住まい推進事業

予算額 3,032 千円

*

住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進し、住み慣れた地域で安心して住み続けられるように、入居前の伴走支援や入居後の見守り支援などを積極的に推進する。

《土木費 ○住宅対策事業》

担当	電話	該当事業
都市整備部交通企画課	☎0422-60-1861	1・2
都市整備部道路管理課	☎0422-60-1857	3
都市整備部住宅対策課	☎0422-60-1905	4

計画的な上・下水道の管理

上水事業は平時のみならず災害時においても安定供給が図れるよう、水道施設の適正な維持管理、更新を行う。下水道事業は安定的・持続的なサービス提供のため、ストックマネジメント計画に基づく事業推進や下水道事業経営のあり方等の検討を行う。

1 配水管網整備推進事業

予算額 325,745 千円

災害時にも安全で安定的な水道水の供給ができるように、配水管の新設・更新を行い、配水管路の耐震化を推進する。

《水道事業会計》

2 浄水場・水源施設維持更新事業

予算額 117,587 千円

円滑かつ効率的に水道水を供給するため、施設保全計画に基づき、浄水場施設及び水源施設の維持・更新を進める。

《水道事業会計》

3 下水道ストックマネジメント推進事業

予算額 474,090 千円

下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的な下水道施設の点検・調査、修繕・改築工事を実施する。

《下水道事業会計》



▲ 工事の様子

4 長期包括契約方式の試行的導入

予算額 12,609 千円

下水道施設について、今後の老朽化対策による事業量増加への対応や効率的な事業運営等を安定的に実施するため、令和6年度からの長期包括契約方式の試行的導入に向け、事業者選定や導入準備等を実施する。

《下水道事業会計》

担当	電話	該当事業
環境部下水道課	☎0422-60-1914	3・4
水道部工務課	☎0422-52-0735	1・2

社会の変化に対応した市政運営

市民参加と多様な主体との連携・協働を推進し、市民自治によるまちづくりを発展させる。拡大し高度化する公共課題に対して、市有地の活用等、限られた経営資源を最大限有効活用し、質の高い行政運営を目指す。

LEVELUP

1 第六期長期計画・調整計画の策定

令和6年度から計画期間が始まる調整計画を、市民委員で構成される策定委員会を中心に、パブリックコメントや意見交換会など多様な市民、議員及び職員参加の機会を通じ、全市的に議論を深め策定する。

《総務費 ○第六期長期計画・調整計画策定》

予算額 14,000 千円



▲市民ワークショップ(オンライン開催)

LEVELUP

2 旧赤星鉄馬邸の利活用検討

令和4年度に登録有形文化財に登録された「旧赤星鉄馬邸」の利活用の検討を進めるため、有識者会議及び社会実験を実施する。並行して、ワークショップや一般公開、オープンハウスを通して幅広く周知、意見聴取を行う。

《総務費 ○普通財産の維持管理 ○資産活用事業》

予算額 13,478 千円 *



▲旧赤星鉄馬邸 外観

NEW

3 住民投票制度確立に向けた論点整理

新たな市民の権利として武蔵野市自治基本条例で定められた住民投票制度について、本市の市民自治にふさわしい制度として確立するため、有識者、市民の意見を参考に必要な論点整理を行う。

《総務費 ○企画調整》

予算額 3,042 千円

NEW

4 自動釣銭機付きPOSレジ及び

予算額 4,808 千円

キャッシュレス決済の導入

証明書交付手数料の支払方法の多様化、支払時間の短縮により、市民の利便性の向上を図るため、市民課、市政センター、市民税課の3課にて、自動釣銭機付きPOSレジ及びキャッシュレス決済端末を導入する。

〈総務費 ○市政センターの維持運営 ○一般管理経費 ○戸籍住民基本台帳事務〉

NEW

5 次期指定管理者の選定準備

予算額 6,983 千円

指定管理者制度の効果的な運用のため、第5期指定管理者制度に関する基本方針等に基づき、次期指定管理者の選定に係る募集要項や要求水準書、選定基準等を作成する。

〈総務費 ○企画調整〉

6 光熱費高騰への対応

増額計 501,180 千円

電気料…………… 437,625千円の増
 ガス料…………… 63,555千円の増

7 事務事業見直し・補助金見直し

削減額(前年当初比) 54,682 千円

事務事業の見直し…………… 38,477千円
 補助金の見直し…………… 4,481千円
 予算枠配分方式による縮減の実施…………… 11,724千円

担当	電話	該当事業
総合政策部企画調整課	☎0422-60-1801	1・3・5
総合政策部資産活用課	☎0422-60-1973	2
市民部市民課	☎0422-60-1838	4
財務部財政課	☎0422-60-1803	6・7